川口町公民館報
公民館報
第53号
発行人 星野輝政
編集人 金子真
印刷所 山脇堂印刷所

今年の稲作はどうか

……稲作病害虫の発生と防除の心得……

一、頴イモチ、枝梗イモチ

頴イモチは止葉の濡舌や包葉にイモチ病菌が付着し葉糸を伸ばして穂軸に侵入するもので、穂をおかすイモチのなかではもっとも被害が大きい。枝梗イモチは普通枝梗の分枝点に病菌が付着し発病するもので、発病点から上部は白褐色に枯れ稔実を害するものである。

今年は葉イモチが全域に発生しており、しかも発生が遅れているので秋期に日照不足で湿度の高い場合には大発生する。

葉イモチは発病がみとめられ後でも薬剤防除を充分に実施すれば穂発生以外はあまり収量に影響しないが、頴イモチや枝梗イモチの場合には発病がみとめられた時にはすでに中軸に侵入して離管束が相当侵されており、薬剤による効力がなくなり次から次へと変色種となってゆきます。

そこで頴イモチや枝梗イモチの場合には多肥、特に窒素質肥料の過多をさけると同じく発病が予想される場合（出来過ぎ、弱い品種、葉イモチの多発生した水田）には必ず予防的薬剤散布が必要です。

そこで第一回目の薬剤散布は穂孕期（出穂前）に下葉によくかかるように実施します。これは穂頴防除というより下葉の病菌をよく殺すようにすることが大切です。

薬剤は水銀粉剤なら四キロ～五キロ位に、乳剤なら一、五～二、〇〇〇倍液を一一〇～一二、〇〇〇倍液を一一〇リットル位を撒布する。

東部で撮す

二、イネアオムシ

イネアオムシはフタオビコヤガの幼虫で稲の害虫としての呼び名で年四回発生し、二化期と三化期の幼虫が稲を喰害する。

二化期は七月中旬頃を中心として発生するが大きな被害はあまりない。

三化期は八月上中旬頃を中心として発生し出穂前の稲の葉を喰害し被害を大きくする。

防除一回を充分に実施するだけでよいが、日照が少く湿度が高い場合や台風の後では出穂後更に防除を実施する。

角斑病に対する抵抗力が弱く菌の侵入を受け易い出穂直后から十五日位までの間にこの防除を実施する。

三、二化メイ虫

一化期の防除期に降雨が続き防除効果が上がらなかったために変色葉が多く見られる。

二化期は多目の発生と予想されるので被害の多いところでは薬剤による防除が必要でEDP、パイジェット、ホリドPN、パイジットン、ホリドン等で出来れば興奮防除の実施も考えられるので今後の病害虫情報に充分注意されたい。

（青及所水島）

耳鼻、眼科の検診おわる

三十三年六月学校保健法が制定され、児童生徒の健康管理が強化されました。

一年一回の身体検査ですべてをすましたというわけにいかないので、昨年から町でも全児童、生徒に対して専門医の健康診断が受けられるよう予算がくまれました。

耳鼻咽喉科検診は小出町広川先生から、眼科検診は小千谷市結城先生からそれぞれみて いただきました。同先生の大変有意なお話を全部伝えしたいのですが紙数に限りがありますので必要な所を簡単にお伝いしあわせて今后も児童生徒の健康の保持と増進のための措置を当局へお願いしたいと思います。

広川先生のお話から

……耳垢……

毎年耳の穴いっぱいの耳垢をためて機械で出してもらう子供が絶えません。ていねい綿棒といって簡単に耳垢をとることの出来ない状態が多いのですが一年一回位自主的に専門医からとってもらうようにしたい。

……中耳炎、中耳カタル……

この病気のために難聴になる場合が多いのですが、最近は社のうちから厳選され、横木組、山崎組、東北工業の三業組が請負い、野田雅雲鋼育所は三間半～六間半で工費一四四万円で山喜屋材木店が請負った。工期ともに十月二十日限りとなっている。

川口小学校の指名入札劇いの為十数社のうちから厳選され、横木組、山崎組、東北工業の三業組を指名したところ東北工業が、工費二、〇〇〇万円で落札した。

校舎の構造規模は鉄筋コンクリート三階建で普通教室九、便所一室であって坪当り工費は六万三千円である。

川口小学校、川口中学校の二校舎増工事は請負入札がおわつて去る七月二十一日に地鎮祭及び献入式が行われた。

（その一）

（その二）

和南津雅雲鋼育所、野田雅雲鋼育所も七月一日に地鎮祭が行われた。

和南津雅雲鋼育所は、木倉平屋建二階建で三間半～七間半、工費一五八万円で二見屋商店四教室となっていて、町内業者が入札した結果、樹之下物産有限会社が四九五万円で落札した。

完工期限は川口小学校が十二月二十日、川口中学校が九月三十日となっている。

おごそかに地鎮祭（その一）

川口中学校は、木倉平屋建四教室となっていて、町内業者が入札した結果、樹之下物産有限会社が四九五万円で落札した。

完工期限は川口小学校が十二月二十日、川口中学校が九月三十日となっている。

小児マヒについて

最近新聞紙上で眼いを発した様な経口生ポリオワクチンは、ソークワクチンは定期予防接種として三才以下の者に実施されておりますが、今回ッ連のポンポン生ワクとカナダ製のシロップが輸入され各県に割当され、八月の上旬から一斉に投与が開始されますが経口生ポリオは臨時的なもの第一回の割当で昭和三十年四月二日から昭和三十六年三月三十一日迄に生れた者、及び小学一年生全員と予定されており、二年生以上については割当の都度低学年より投与されます。

これから最盛期を迎え手洗の励行、寝具の日光消毒や害虫駆除を実施し、町から患者を出さぬよう、経口生ポリオワクチンは皆んなで奔走致しましょう。

消防団幹部留任

川口町消防団長佐藤邦平、副団長荻辺春晴、同古田島謙一は七月二十一日が任期であつたところ、去る六月二十七日の幹部会において、夫々留任と決定した。消防団幹部の任期は二ケ年とされ、団長については町長が任命し、副団長以下の幹部については団長が任免するもので佐藤団長は昭和二十二年以来八期目である。

防犯モデル地区に

川口東部が指定さる

小千谷警察署管内の川口町では、この度川口町の東部部落を防犯モデル地区に指定して防犯組合の活動を活発にしその成果を挙げることになつた。東部では先般役員をきめ防犯組合の地域表示や掲示防止の各戸表札を注文して事業計画をたててモデル地区にふさわしい防犯態勢の確立に努めている。

運転免許の講習会

八月下旬に予定

新道路交通法による運転免許試験は、十分に準備してから免許を与えられるものです。しかし繁雑には二回も三回も受験して、合格できないという人もぐらしくありませんその人達は、実地の運転技術はできるのだが、学科の筆記試験で失敗したという人が多いようです。

そこでこれらの人達の学科筆記試験にそなえて、新道路交通法の講習会を開催することにしました。

とき 八月下旬頃
ところ 役場の予定
講師 小千谷警察署交通係

（役場掲示板参照は多数参加して下さい）

黄色いぼうし

黄色いぼうしをかぶつた小さな子供達が町を行くようすは何んといつても可愛いものである。

黄にさげた小さなカバンは おべんとう、やっと歩くような子供からでは先生方も大へんである。自分の子からどんなにしかつてもかまわないが人さまの子供であればそれも出来ず、いやがらないようにするだけで精一杯だろう。

子供達は無邪気で結構だが親はそうゆうわけにはいかない。弁当のおかずも人並にするにはなかなか気苦労である。

だが遠くその子供の将来を考える時、いろんな気苦労も又たのしみである。こうして小さい時から団体生活をして来た子供達はそれ位の子供と違い、おとなである。

しつけについては、こうだあなどういう切れないものがあつてむつかしいものだがせめて一日に一度は子供をほめてやることが出来たなら、親子共々まず及第であろう。

黄色いぼうしの子供達も、ただおやつや、おひるねの時だけが楽しいのではなく、きっと先生から「おりこうさんネ」とほめられることのうれしさを忘れられず手をつないで通うのも楽しいのではない。こうした小さな園児たちの夢を育ててやらなければならないだけに容易なことではないがいつもあたたかく見守ってやりたいものだ。

海はいつ見てもいいネ……

——婦人会研修旅行で柏崎へ——

「まんまがちっとで、はらがへったのう。」「もうちっとくいたかったてえ……」。隠りの車中でこんな会話がきこえてきた。

妻も一段落した七月八日、町婦人会では研修旅行をおこなった。

この日厚い雲が空をおおつてもよつと心配だつたが柏崎へ近ずくにつれ晴れて全くの旅行日和。

第一の訪問先は、坂田体育研究所、バス二台に分乗して向う七十五才とはどうみてもみえない坂田先生はじめ民踊研究会の人たちの出迎えを受け、てれながら中に入る。五尺に満たない小柄なこの坂田老人、九十七人のお客を迎えてすつかり感激、熱の入つたお話しと体操を交え、それにユーモアを加えて約二十分の歓迎してくれた。とくに業員の「柏崎三階節」「柏崎おけ踊らしいのは「あしか」そいえない和やかな雰囲気が会場にただよい先方の強い要望にこたえわが婦人部員の踊振による「白鳥音頭」の手さばじめから「あき、足さばきのよさをみてもらう。ここで約一時間、目程通りに従い正十時ていねいなお見送りをうけ再びバスで柏崎線を一路善神峠へと向う。

ここでは旅館も近いので自由に参拝し見学を終え、気の早い人はみやげを手にして旅館へ急る。

海が近く、寄せくる波の音をききながら、しお風に吹かれ昼食を待つ。ゴロリと横になる人、大きな足を存分に伸ばして休むあおさたち……。

いつもは朝から晩までつ愛いいものである。

遠く佐渡をのぞみ、お光、晋作の恋物語のゆかりの地柏崎ですごした一日が明日への活力となり町婦人教育進展に大きな役割を果すであろうことをひそかに念じながら柏崎をあとにした。

この旅行を計画し実施に当つて駅長さんはじめ渡部さん大滝さんからお骨折りをいただき心からお礼を申上げたい。

右 水族館前で

左 番神堂で説明をきくおかあさんたち

海はいいネ、よかつたのうか。「サル」にも人気が集う。ほんにそう……。

K生

寸感

まい年のことながら、お盆がやつて来た。あちこちで踊りの輪がゆれる。見るのも、踊るのも、もちろん結構だが蚊帳の中で、うちわを手にしゴロリと横になつて、笛、太鼓の音を聞くのもまたおもむきがあつていいものだ。最近はテレビで全国の盆踊りのようすなどを見られるようになつた。東にいて九州の踊り、北海道のうたがきける貴の中になつて申し訳ない位である。

お盆が過ぎると十五夜、その頃になるとも与秋のにおいがぷんぷんする。稲も重くなつた頭をふつて早く刈つてとさいそくする。いろんな意味でお盆は出発点である。夏から秋に季節がかわる。取り入れが近くなる、存分にごちそうをたべて、力をつけておきたいものだ。

せみの鳴き声もやがて聞けなくなる。気をつけて聞いてるわけじゃないがやはり声がしなくなると「夏もおわりかな」と思う。さびしいものだ。

子供たちはあわてて夏休みの宿題をしなければならない何日か前の天気はどうの、こうだの話題を困らせる。まあとにかくお盆はいいものである。

完成された慰霊碑

参拝する遺族

みたまよ安らかに

慰霊碑除幕式 追悼式挙行さる

総工費一七〇万円余りを投じ、このほど宝積寺境内に慰霊碑が建設され、去る三日おごそかにその除幕式及び追悼式がとりおこなわれた。

この日、遺族はじめ一般参会者多数が曹経のうちに静かに焼香、三一二柱の霊にけいけんな祈りを捧げた。

遠く西南の役より日清、日露を経て大平洋戦争までの戦没者で、この慰霊碑建設にあたり感銘あらたなものがあり、とくに、わが父、わが夫、わが子をなくされた遺族にとつては去来するものひとしおというところであろう。

関係者はじめ各方面の努力そして協力の結であが戦後十数年を経た今日、このような大きな事業を成し得たことに深く敬意を表すると共に、永劫に、英霊に捧げるまことの気持を持たれることを切望するものである。

戦禍の中に花と散つた三二の英霊に対し、安かれとその冥福を祈り、併せて平和をちかうわれらの御加護をひたすらねがうものである。

みんなそろつて手拍子シャンシャン

……民踊ながし町を行く……

十九日の祭礼を期し公民館踊研究会の人たちから絶大な御協力をいただき厚くお礼申上げる次第である。

当局としては体育の面には相当力を入れて来たわけであるがそれだけでなく広く全町民の参加出来る種目を今後とり上げて進もうと計画中である。

日報盃争奪野球始まる

町長盃争奪野球大会について目下報盃争奪野球大会は去る五日から参加一〇チームによつて開かれている。

健全な町民体育の振興をめざし、この炎天下に熱戦をくりひろげている。

参加チームと組合せは次のとおりである。

仮の町を飾る民踊ながし

町民野球大会おわる

去る六月十七日開催された町民野球大会も去る七月十九日その幕を閉じた。

参加二チームで熱戦を展開したが、若さと加えてその技に一日の長ある高校生チームに勝利の栄光が輝いた。

成績次の通り

準決勝
ヤンキース10——0敢職員
高校生3——2川口駅

決勝
高校生2——ヤンキース

表彰をうける高校生チーム

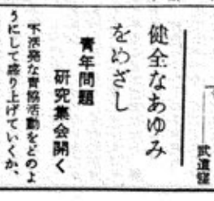
健全なあゆみをめざし

青年問題研究集会開く

平素発な青協活動をどのようにして盛り上げていくか、農村青年はいかにあるべきかを主題とする問題研究集会が去る七月二十六日田麦山中学校で開かれた。

交通不便な場所にもかかわらず、木沢婦人会員の眼も見え終日熱心な話し合いが展開され、あすの青年会活動に大きな希望がもたらされた。

講演は魚村の栄養問題とカロリー計算について田麦山中学校山ノ相川分校勤務の川村先生からたつぷりときき、分科会は三つもたれ、結婚の問題、青年が農村を嫌う問題、青年活動の問題とそれぞれ熱烈な論が交わされた。

地元婦人会はじめ、各地区の婦人会員の協力を得て、青協初の研究会であつたが、見守られ、育つてゆく青年会に今後の活動を更に期待し、健全な歩みを祈るものである。

◆日報盃争奪戦◆